

昭和51年度春夏作芝生関係

除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和51年度春夏作芝生関係除草剤・生育調節剤委託試験成績検討会は、昭和51年11月15日（月曜日）、農林省共済組合南青山会館（東京都港区青山5-7-10）において開催、試験場関係者等17名、委託関係者（会社）等43名参

集し、除草剤13剤（60点）、生育調節剤4剤（20点）について試験成績の報告後、質疑応答が行なわれ、慎重な検討が行なわれた。その判定結果は、次表のとおりである。

昭和51年度春夏作芝生関係除草剤・生育調節剤供試薬剤判定結果一覧表

A. 除草剤

No.	薬剤名 〔種類名 商品名〕	剤型	有効成分・ 含有率	委託者名	対象芝生名	対象雑草 〔処理方法〕	新継別 前回判定	試験場所	今回 判定 結果	判定理由・内 容・その他
1.	3,4-DPBD	乳	・2(3,4-ジクロルフェノキシ)プロピオン酸ブチルエステル 35% ・2,4-ジクロルフェノキシ酢酸ブチルエステル 25%	保土谷化学工業(株)	コウライシバ	広葉雑草全般、 〔生育中茎 葉処理〕	新	山梨農試、スリーハンドレッドC、新沼津CC、にのみやCC、仙台青葉山CC、(5)	継	草種拡大(とくに多年生雑草)、処理時期と薬害の関係、
2.	A-820・2,4-D	粒	・N-sec-ブチル-4-tert-ブチル-2,6-ジニトロアニリン 6% ・2,4-ジクロルフェノキシ酢酸 2%	2,4-D協議会 (石原産業)	コウライシバ、ノシバ	畑地1年生雑草、 〔特に広葉 に対し、 発生初期 土壌、〕	新	東京農試、柏GO、小金井CO、関西グリーン研、(4)	継	試験結果不一致(更に関西の試験成績をみて検討)。
3.	ベスコ 〔BPA〕 〔ベスコ〕	液	・TCB-Na 4.9% ・MCP-Na 8.3% ・MOP 1.9%	武田薬品工業(株)	コウライシバ、ノシバ	広葉雑草、 〔1年生、多 年生、生 育中茎葉 ・スポット〕	実 継	山梨農試、柏GO、スリーハンドレットC、新沼津CC、西日本グリーン研、	実・継	実: 0.5 ml/m ² の2回処理 (1 ml/m ² は 薬害が大き い)、 継: カタバミ・

No.	薬 剤 名 〔種類名 商品名〕	剤 型	有 効 成 分 ・ 含 有 率	委託者名	対象芝生名	対 象 雑 草 〔処理方法〕	新継続 前回判定	試 験 場 所	今回 判定 結果	判定理由・内 容 ・ そ の 他
3.	ペスコ (つづき)									タンポポに対 する効果と生 育ステージと の関係について。
4.	CG-100	水 和	未 公 開 60%	日本農薬	日 本 芝	メヒシバ,カ ヤツリグサ, スベリヒユ, タデ,アカザ, その他キク 科全般. 〔発生前～ 初期土壌〕	新	東京農試, 日 本緑営芝研, 豊田CC, 関西 グリーン研, 西日本グリー ン研. (5)	新	有望であるが 継続して検討.
5.	CH-06 -W 〔トリア ジン系 化合物 ——〕	水 和	未 公 開	中 外 製 薬	日 本 芝	一般1年生 雑草および カタバミ. 〔生育中茎 葉〕		東京農試, 豊 田CC, 関西グ リーン研, 西日 本グリーン研, 植調研. (5)	継	有望であるが 継続して検討.
6.	DC-55 〔エース フェノ, キャス タイト〕	乳	4-tert- ブチル-2,6 ジメチル-3,4 -ジニトロア セトフェノン 20%	大日本イン キ化学工業 (株)	洋 芝	1年生雑草 全般. 〔発生前直前 土壌〕	継 継	程カ谷CC, に のみやCC, 那 須ナーセリー. (3)	継	試験結果不一 致. (グリーン回り)
7.	DC- 753 〔MBP- MC・ MCP ——〕		・4-メチル -2,6-ジ- tert-ブチ ルフェニル -Nメチル カーバメイト 40% ・2, -メチル -4クロル フェノキシ 酢酸 30%	大日本イン キ化学工業 (株)	日 本 芝	一般イネ科 以外のハマ スゲ, オオ バコ等広葉 雑草. 〔発生前～ 初期茎葉〕	継 継	千葉農試, 柏 GC, 錦カ原 CC, 相模原 GC, にのみや CC. (5)	実・ 継	実: 1g/cm ² 継: 葉害につ いて検討.
8.	DOWCO -233	液	3,5,6トリク ロル-2-ピ リジルオキシ 酢酸 エチル アミン塩 43.8%	DOWCO- 223研究会 (ダウケミカル)	ノシバ,ティ フトンシバ.	イネ科を除 く広葉雑草 全般. 〔生育期茎 葉〕	新	日本緑営芝研, 程カ谷CC, 新 沼津CC, 豊田 CC, 植調研. (5)	継	有望であるが 継続して検討.
9.	G-315 〔ロンス ター〕	水 和	5-tert- ブチル-3-	日産化学工 業(株)	コウライシ バ.	1年生雑草 全般.	新	千葉農試, 柏 GC, 錦カ原	継	処理時期と濃 度(高める)に

No.	薬 剤 名 〔種類名〕 〔商品名〕	剤 型	有効成分・ 含 有 率	委託者名	対象芝生名	対 象 雑 草 〔処理方法〕	新継続別 前回判定	試 験 場 所	今回 判定 結果	判定理由・内 容・その他
9.	G-315 (つづき)		(2,4ジクロロ -5-イソプ ロポキシフェ ニル)-1,3,4 -オキサジア ゾリン-2- オン 50%			〔土 壤〕		〇〇, 相模原 GC, 程カ谷 〇〇, (5)		ついて検討,
10.	KH- 7205-G 〔TCTP〕 〔IPC〕 〔――〕	微 粒	TCTP 15% cl-IPC 1.8%	キング化学 (株)	日 本 芝	イネ科1年 生雑草, 〔発生前〜 初期, 土 壤〕	実・継 継	山梨農試, に のみや〇〇, 那須ナセリー, 仙台青葉山 〇〇, (4)	実	実:〔ベントを 除くコウ ライ・ノ シバに対 して〕
11.	KWH- 752-A	水 和	未 公 開 48%	協和醗酵工 業(株)	芝 一 般	1年生広葉 雑草全般, 〔発生期茎 葉〕	新	小金井〇〇, 西日本グリー ン研, 植調研, (3)	継	試験例数不足 (有望),
12.	バンベル -D 〔MBA〕, バンベ ル-D	粒	2-メトキシ -3, 6-ジ クロル安息香 酸 2.5%	大日本イン キ化学工業 (株)	芝 一 般	イネ科以外 の多年生雑 草, 〔発生盛期 茎葉〕	実・継 継	錦カ原〇〇, 相 模原GC, 日本 緑管芝研, 那 須ナセリー, 西 日本グリーン 研, (5)	実	実: 20g/m ² (ベントグラ スは除く),
13.	SSH- 40 M	水 和	未 公 開 80%	塩野義製薬 (株)	和 芝	一般1年生 芝地雑草, 〔土壌およ び茎葉〕	新	千葉農試, ス リーハンドレ ット〇, 関西 グリーン研, 西日本グリー ン研, 植調研, (5)	継	有望であるが 継続して検討,

B 生育調節剤

No.	薬 剤 名 〔種類名〕 〔商品名〕	剤 型	有効成分・ 含 有 率	委託者名	対象芝生名	試験のねら いと処 理 方 法	新継続別 前回判定	試 験 場 所	今回 判定 結果	判定理由・内 容・その他
1.	2008 〔モルフ ァクチ ンMH, CF- 125 エース〕	水 和	・モルファク チン 20% ・マレイン酸 ヒドラジッド 20%	メルクOF 研究会, (メルク・ジ ャパン)	コウライシ バ, ノシバ,	芝および雑 草の生育抑 制による刈 込みの省力 化, 〔生育中散 布〕	継 継	日本緑管芝研, 程カ谷〇〇, にのみや〇〇, 関西グリーン 研, 植調研, (5)	実・継	実:〔ヘビー・ ラフ, 非 農耕地〕 1.5g/m ² , 継: 洋芝, 広 葉雑草に対 する効果の 検討,
2.	アトニック 〔生育調 節剤ア トニック〕	液	・5-ニトロ グアヤコ ルナトリウム 0.1%	旭化学工業 (株)	コウライシ バ, ヒメコ ウライシバ,	張芝後の活 着および生 育促進, 〔張芝後散布〕	新	千葉農試, 程 カ谷〇〇, 豊田 〇〇, 西日本グ リーン研, 植	継	処理時期(温 度が低い2〜 3月), 葉量増, 希釈水量減で

No.	薬 剤 名 〔種類名〕 〔商品名〕	剤 型	有 効 成 分 ・ 含 有 率	委 託 者 名	対象芝生名	試験のねら い と 処 理 方 法	新継続別 前回判定	試 験 場 所	今回 判定 結果	判定理由・内 容 ・ そ の 他
2.	アトニック (つづき)		・オルソニト ロフェノール ナトリウム 0.2% ・パラニトロ フェノール ナトリウム 0.3%					調 研、 (5)		再検討。
3.	GW-7 〔生育調 節剤、 ヒロバ トール〕	水容	マレイン酸ヒ ドラジッド コリン塩 30%	三菱瓦斯化 学 (株)	芝 一 般	芝生の抑草、 草丈の抑制 による刈込 回数省力化、 〔生育中散 布〕	新	東京農試、日 本緑営芝研、 小金井CC、豊 田CC、植調研。 (5)	継	被害と薬量、 処理時期、芝 の種類との関 係について。
4.	サスター 〔サスター〕	液	N-(2,4ジメ チル-S-[[[1,1,1-トリ フルオロメチ ル)サルフォ ニル]アミノ] フェニル)アセ トアミド 48%	日産化学工 業 (株)	芝 各 種	芝の生育抑 制による刈 取回数減、 〔生育中散 布〕	継 継	柏GC、相模 原GC、程力 谷CC、にの みやCC、西 日本グリーン 研。(5)	実	実: 500 倍、 100ml/m ² (6月まで、 ノシバ対 象)。

外 国 文 献 抄 録

Chemical control of perenial nutsedge
(*Cyperus rotundus* L.) in tropical upland
-rice

L. I. OKAFOR & S. K. DEDATTA

ハマスゲ (*Cyperus rotundus* L.) は熱帯地
方の陸稲栽培において強雑草として知られ、強
い雑草害を招来し、直播で41%、ドリル播きで
43%もの減収を招いていることが判明した (19
74)。これはハマスゲの増殖生態と、発生が陸
稲の発芽と同時に少しく前にあるという最も競

合の起こり易い事実起因する。ハマスゲの外
にノビエや広葉雑草も発生して害を及ぼす。こ
れまでに、陸稲畑のハマスゲに対しては、かな
り有効な若干の除草剤が報告されているが、陸
稲の収量を確保する見地から検討されなければ
ならない。

著者らは 1973、乾季と雨季の二回に亘って、
除草効果と作物安全の観点から除草剤による試
験を実施した。

(1) 乾季 IRRIの埴壤土畑地圃場にて、品種
は生育日数 120日の IR-422-2-58 を用い、次の